



ドイツで唯一。 文字だけでなく、手を使うコワーキングスペース

働き方が多様化する中、共同の
仕事場＝コワーキングスペース
(Coworkingspace) はドイツでも人
気だ。通常、コワーキングスペース
は共有のオフィスという意味合いが
強いが、新たなかたちのコワーキン
グスペースとして注目されているの
が、ハノーファーにある「ハーフェ
ン」である。

2016年にオープンし、事務仕事
はもちろん、木工や金属加工など手
工業もできる。

「一生学ぶ」「シェアする」をテー
マに、多くの人を巻き込んだ新しい
形の空間となっている。

メンバーは現在 845 人。会費は月
10 ユーロ (1300 ~ 1400 円) から
と敷居が低い。月 90 ユーロ出せば
コワーキングスペースをいつでも使
え、会議室は毎月 10 時間、作業場
は 20 時間まで利用できる。

月 200 ユーロを支払えば固定の机

がもらえ、会議室などの使用時
間も増え、郵便箱も設置できる。
講演会やワークショップ、朝食
会、太極拳など催しも充実して
いる (一部有料)。

アーティストのアイデアを
取り入れた内装は木が多く使わ
れ、カフェでは地元産の食材に
よるサンドイッチやケーキが味
わかる。

作業場にはレーザーカッター
や 3 次元プリンターなど、3500
の工具があり本格的だ。初心者
向けの講習会もあり、学生から
年金生活者、素人からプロまで
幅広く利用されている。普通
は本格的な工具の使い方を知らない
し、試したくてもする場所がない。
そういう人たちのニーズを汲み取る
うと始めた。

IT が進み、どこでもひとりで仕
事ができるようになったからこそ、
交流の場を兼ねたコワーキングス
ペースが必要とされる時代になっ
ているのだろう。



カフェのあるイベントスペース



おしゃれな仕事場

しかし、頭脳労働と肉体労働の両
方ができるコワーキングスペースは
ドイツではここだけ。「似た者同士」
ではない別のタイプの人と知り合
い、切磋琢磨できる貴重な場となっ
ている。

ハーフェンの公式サイト
<https://hafvende>

ごみかんドイツ特派員 田口理穂

AKIRA の 成長記録



先日クラスで保護者会があり、各自が子どもの様子を述べました。学校に喜んで行っているかたわら「宿題が多いから、減らしてほしい」「英語のテストが難しく、やる気をそぐ」など勉強が大変という声が多数あがりました。「英単語を覚えるには毎週テストするしかない」「宿題は 1 科目につき 30 分出してよい」という裁判の判決があり、毎日 3 教科だから 1 時間半の宿題は認められている」という人もいましたが、「うちの子はやる気をなくしているのよ!」と強硬に主張する親も。宿題が多いから減らすよう先生に頼むなんてできるのかと驚きました。

私が「明は週 3 回学校でのサークル、他に母国語教室のギリシャ語と日本語があるけど、文句いわずにやっている」というと「そんなにたくさん!」との声。たぶん非情な教育ママに思われているでしょう。日本に比べれば、ドイツはぜんぜんゆるいの。日本の受験を知っていれば、こわいものは何もありません。

それにしても「シングルマザーで子どもが 4 人いるから、宿題をみている時間がない」「5 (落第点) ばかりなので、せめて 4 を取ってくれればうれしい」「自分は高等教育を受けてないから勉強はわからないけど、子どもをサポートしたい」などざっくばらんな発言で、和気あいあいとした雰囲気でした。みな正直だなー。